


学校になじめない お子さまの 「自信を育てたい」 お母さまへ



思いやりのある子に育てるポイント



思いやりのある子に育てるポイント


どのようにしたら、
わが子を、思いやりのある子に
育てることができるのでしょうか？

どのようにしたら、
いじめなど決してしない、
思いやりのある子に
育てることができるのでしょうか？

どのようにしたら、
誰にも優しく、親切な子に
育てることができるのでしょうか？

なんといっても、一番大切なのは、
子どもに愛情を注ぐことです。

そして、子どもに、
「お母さん・お父さんから愛されている」と
実感させてあげてください。



お母さんの愛情で、子どもの心を
いっぱい満たしてあげることです。

例えて言えば、
「心というコップ」に
「愛情という水」を
注ぐようなものです。

「心というコップ」が、たっぷりの
「愛情という水」で
いっぱい満たされている子は、

その「愛情という水」を
周りのお友だちにも
分けてあげることができます。

自分のコップが、「愛情という水」を
半分しか満たされていないとすれば、

その子は、「愛情という水」を
お友だちに分けてあげるとは、
できません。


親子の触れ合いや
スキンシップの時間を
大切にしてください。

子どもにとって、
お母さんとの触れ合いは、
とっても嬉しいものです。

特に幼い子どもにとって、
お母さんとのスキンシップは、
非常に大切なものです。

親子の絆が強く結ばれるのは
どんなときでしょうか？





それは・・・次のような時ですね。

☆お互いの温もりを感じ合うとき、

☆ギュッと抱き締め合うとき、

☆何か一緒にやっているとき、


☆楽しい時間を分け合っているとき、

このような時が、
親子にとって「最高のひととき」です。

その日に経験したことを
思いつくままに、
楽しくおしゃべりする。

そして、それをお母さんに
たっぷり聞いてもらう。

このとき、子どもの心は、
とてもスッキリします。



自分が、大好きなお母さんに
受け入れられていることが
とてもうれしいのです。

だから、お子さまは、ニッコリ
安心して眠りにつけるのです。

☆おいしくて楽しい食卓、

☆洗濯してきれいにたたまれた衣服、

☆「虫干し」でお日様のにおいのする温かい布団

……これらの全てが、

お子さまの心に
お母さんの「愛情の水」として、
どんどん蓄積してゆきます。

牧歌的な生活のおススメ


いろいろな面で、飛び抜けたところがない・・・
ある意味で、「普通の子」がいますね。

でも、そのように「普通の子」でも、
思いやりのある子は、
着実に、スムーズに
好かれるようになっていきます。

しかしながら、
「なんとか、子供を指導しなければ！」
という思いが強すぎると、
思いやりのある子に育ちにくいことがあります。

なぜなら、その思いが強すぎると、

お子さまの「牧歌的な生活を破壊」
する可能性があるからです。



実際に子育てをしていると、

お母さんたちは、お子さまと一緒に
ゆ〜ったりとした「牧歌的な生活」を
送ることがなかなかできません。

それはなぜでしょうか？


その理由はただ一つです。

それは、私たちの心の中に、
次のような気持ちが
強くあるからです。

「しっかりしつけをしなければ！」

「しっかり指導しなければ！」

「しっかり育てなければ！」など



次のような気持ちが、心の中に、
強く渦巻いているかもしれません。

「人に迷惑を掛けない子にしなければ！」

「どこに出しても恥ずかしくない子にしなければ！」


「自分のことがきちんとできる子にしなければ！」

「勉強ができる子にしなければ！」

程度の違いはあっても、どの親にも
このような思いがあります。

近年、このような思いの強すぎる親が
増えているように感じます。

中には、ほとんど脅迫観念のように
なっている人もいらっしゃいます。




お母さんご自身が、子どものころ、
「しっかり指導しなければ！」という思いで、
育て方をされた場合には、特に、
そのような、お気持ちが強いです。

また、
家族、親族、地域、学校、社会など、
周りの目を意識しすぎた結果、
そうなっている人もいます。

「しっかり指導しなければ！」
大変なことになるかもしれない。。。

という思いが強ければ強いほど、
子育てが苦しくなるのです。

ゆったりとしていて、子どもたちと
一緒に、ニコニコ、楽しく過ごす
・・・なんてことはありません。



まさに、「牧歌的」な毎日とは、
正反対の毎日になってしまうのです。

毎日ガミガミ叱ったり、
きつい言葉を浴びせたり、
・・・イライラすることが多くなります。

その結果、子どもたちは
「お母さんの愛情」を疑うようになります。

「ボクって、ダメな子なのかなあ？」

「ワタシって、お母さんに嫌われてるのお？」

お母さんとしては、お子さまに対して、
愛情たっぷりの故に
しっかり育てようと思っているのです。

ところが、残念なことに、
全く逆の結果になってしまう・・・。

今、これで苦しんでいる親子が
世の中にどれだけいるか分かりません。

これでは、思いやりのある子を
育てることはできません。

今、一度、肩の力を抜いて、
週に一度でも、いいのです。

お母さんたちは、お子さまと一緒に
ゆ〜ったりとした「牧歌的な生活」を
取り戻して下さい。



お子さまの学習、習慣づくり、将来の展望など、
どんな小さなことでも、気軽にお電話下さい。

「スタディ・コーチング・ラボラトリー」代表の
福田秀一が、直接、お話をうかがいます。

ご連絡は、今すぐ！

e-mail : a_totalperson@yahoo.co.jp
(PCにて、24時間受付)

